

ふっさ



市議会だより

No.213 平成31年1月25日
発行/福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



▲消防団員による大迫力の一斉放水（1月13日 福生市消防団出初式）

平成30年
第4回定例会
12月4日
～21日

平成31年4月より、第二市営住宅の高齢者住宅に 次世代型の見守りシステムを導入します。

「森林環境税の活用に関する意見書」ほか意見書2件を提出

平成30年第4回定例会

平成30年第4回定例会は、12月4日から21日まで会期18日間で開催され、16名の議員による一般質問が行われました。今定例会では、条例の制定・一部改正、一般会計補正予算など市長提出議案23件、諮問1件及び委員会提出議案3件が審議されました。
また、継続審査となっていた陳情1件は採択となりました。

意見書（概要）

意見書の全文を市議会ホームページに掲載しています。

委員会提出議案第1号

臓器移植の環境整備を求める意見書（要旨）

臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させるため、臓器移植の環境整備を早急に進めるよう強く要望する。
（提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長）

委員会提出議案第2号

白タク行為への更なる対策強化に関する意見書（要旨）

《要請事項》
白タク行為に該当するようなライドシェアは、利用者の安心・安全に極めて大きな懸念があり、さらに、改正タクシー特措法の意義を損なうことが危惧されるため、十分慎重に検討すること。道路運送法違反である白タク行為に対し、更なる対策強化を行うこと。
（提出先 内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、国土交通大臣、規制改革担当大臣、国家公安委員会委員長、衆議院議長、参議院議長）

委員会提出議案第3号

森林環境税の活用に関する意見書（要旨）

《要請事項》
都内区市町村の譲与税の活用に関する担当窓口を設置すること。
都内の区市町村に交付される譲与税が、多摩産材など東京都の森林のために活用されるよう積極的に働きかけること。
東京都に交付される譲与税を活用し、林業従事者育成のための諸施策を強化すること。
（提出先 東京都知事）

◆ 主な内容 ◆

- ◆一般質問（要旨）……………2～5面
- ◆可決された案件……………5面
- ◆議案の審議結果……………6面
- ◆行政視察報告……………7面
- ◆委員会の審査……………7～8面
- ◆特別委員会活動……………8面

◆ 会議の 開催状況と 審議日程 ◆

会期18日間

▼12月

- 4日 第4回定例会1日目
議会運営委員会
- 5日 第4回定例会2日目
議会運営委員会
- 6日 第4回定例会3日目
議会運営委員会
- 7日 第4回定例会4日目
全員協議会
- 11日 建設環境委員会
- 12日 市民厚生委員会
- 13日 総務文教委員会
- 14日 横田基地対策特別委員会
- 18日 議会運営委員会
まちの魅力づくり対策特別委員会
- 21日 第4回定例会5日目
全員協議会
議会運営委員会

一般質問（要旨）

「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は2月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

平成31年度予算編成の基本的な考え方について

正和会
清水 義朋 議員



▲31年度予算で継続して整備予定の富士見通り

質問 景気の回復基調が続き、来年10月には消費税の10%への引き上げが予定されているが、現在進めている平成31年度予算編成の基本的な考え方を伺う。

市長 現在、消費税増税や税制改正等を見込んで編成を進めている。来年度も大規模事業を予定し、扶助費も増大が見込まれる一方、市税や地方消費税交付金等の大幅な増額は

見込めない。国や東京都の補助金、交付金、財団法人等の助成金などを可能な限り獲得し、一般財源の負担を最小限に抑えるよう努める。

CV-22オスプレイ正式配備について

質問 10月1日にCV-22オスプレイが正式配備となったが、これに関して市はどのような情報提供を受けているか。また、市の対応を伺う。

市長 10月1日午前国からCV-22オスプレイ5機が横田飛行場に正式配備された旨の連絡があった。配備後の飛行経路や訓練の詳細について国や米軍に情報提供を求めているが、運用に関する詳細は答えられないとの回答があった。今後も国や米軍に粘り強く要請を行うとともに、東京都や5市1町でも十分に連携を図りながら、全力で取り組んでいく。

福生市中小企業振興資金融資条例改正後の状況について

正和会
町田 成司 議員



質問 条例改正から1年8か月経過しているが、融資制度を利用している事業者の声や市の考え方を伺う。また、市は、借り入れをしている事業者が繰り上げ償還したことをどのように確認しているか。

市長 融資制度の利用者からは、月々の返済負担が軽減され、資金繰りが楽になった等の好意的な意見が寄せられている。市としても、本制

度を最大限活用し、引き続き中小企業を支援していきたい。

生活環境部長 確認の方法について、市は、金融機関及び東京信用保証協会に対して、月末時点の状況を翌月10日ごろまでに報告していただくよう依頼している。

市内の交通安全対策の現状について

質問 最近、市内にバスの回送車

が行き交う姿をよく見かける。特に本町通りに回送車が走っているが、バスが本町通りを走る経緯と安全対策について伺う。

総務部長 回送バスは路線バスと異なり、警察への運行経路の承認の必要はなく、大型車両扱いとなる。安全対策について福生警察署に確認したところ、バス事業者と事前に調整を行ったとのこと。

発達障害者（児）支援の取り組みについて

正和会
幡垣 正生 議員



質問 発達障害者（児）の支援について、滋賀県湖南市では、早期発見、早期対応を旨とし、産前産後の早い時期からきめ細かい支援を行っている。本市の総合戦略にも次世代へつなぐ大切さが示されているが、本市の支援内容等について伺う。

市長 健康課の3歳児健康診査や子育て世代包括支援センターの巡回相談で、発達障害児の早期発見、早

期支援に努めているほか、教育相談室で子ども一人一人の特性に応じた支援を行うなど、各部署でライフステージに応じた対応を行っている。

部活動指導員の制度化について

質問 昨年法定された部活動指導員について、第1回市議会定例会で質問があり、直ちに配置することは難しいが、準備期間も考慮し、実施

時期について慎重に考慮するとの回答があった。その後の進捗状況は。

教育長 現在、部活動指導員の配置等も含め、部活動改革を目指して、福生市教育委員会運動部活動のあり方に関する方針を策定している。この中で、部活動指導員を積極的に学校に配置することとしており、平成31年4月以降、各中学校1名の配置を目指して調整を行っている。

牛浜駅東口公園内にある線路沿いの空間の活用について

正和会
末次 和夫 議員



▲牛浜駅東口公園内にある線路沿いの空間

質問 牛浜駅東口階段の駅ホーム側壁面から線路沿いの場所に、フェンスで囲われた24坪ほどの空間があるが、階段側に奥行き狭い花壇があるだけで、ほかには活用されていない。駅に最も近い場所であり、有効活用すべきではないか。

市長 このスペースは監視機器室に通じる通路として活用しており、防犯上の理由から、立ち入れないよ

うにフェンスで封鎖している。形状の変更は考えていないが、駅前、駅ホームからの視認性も高いことから、先進事例等を参考にスペースの有効活用について検討したい。

質問 監視機器室をフェンスで囲って防犯カメラを設置すれば、防犯の問題はクリアできると思われる。そのようにすれば、通路部分は、新たな階段を設置したり自転車駐

として有効活用できるのではないか。

都市建設部長 通路部分も、死角ができるため、防犯の観点から封鎖している。新たな階段の設置は福生市都市公園条例との関係で、自転車駐車場の設置は都市公園法との関係で、いずれも難しいと考えるが、JR東日本と協議するなどして、スペースの開放も含め、有効活用について検討したい。

マイナンバー制度の現状について

質問 総務省が公表したマイナンバーカードの平成30年7月1日現在の交付枚数は、対人口比11.5%であるが、当市の交付率と、それに対する市の評価について伺う。

市長 平成30年7月1日現在、福生市のマイナンバーカードの交付率は12.6%で、全国平均を上回っている。なお、11月1日現在の福生市の交付率は13.3%となっている。これ

は、7月から10月にマイナンバーカード取得促進のために実施した、顔写真の無料撮影等の申請サポートの効果があったものと考えている。

マイナンバー提示の義務化について

質問 一部の支払い調書へのマイナンバーの記載が平成31年1月1日から義務づけられるが、マイナンバー提供の義務化に関する動向について伺う。

市長 マイナンバーの提供が求められるのは、現在、投資信託や公共債などの証券取引、外国送金などの取引に限られている。自治体における手続きについては、申請者本人が窓口申請でマイナンバーを記載しないときは、自治体の判断により受理することも可能とされており、市民に不利益がないよう努めたい。

正和会
乙津 豊彦 議員



▲マイナンバーカード申請サポートのリーフレット

指定管理者制度における自主事業の内容について

質問 指定管理者の活力が存分に発揮できるかどうかのポイントとなっているのが自主事業であるが、当市ではどのような取り組みが行われているか伺う。

市長 学童クラブでは、自主事業として、午後8時までの育成、学校の休校日においては、午前7時30分からの育成を実施している。市営プールでは、新品不用品を持ち寄って

いただくフードドライブ事業で被災地支援を行っているほか、幼児用プールにて玩具を無料で貸し出し、小学校2年生以下の子どものプール利用料の無料化を実施する取り組みが実施されている。

国道16号線武蔵野橋北交差点の形状変更の内容について

質問 形状変更の内容について伺う。

市長 今回の交差点形状変更は、将来的に五日市街道の主流交通が、武蔵野橋北交差点を左折し、武蔵野橋南交差点を陸橋通りへ右折するバイパスに転換されることから、五日市街道の主流交通の動線に合わせた交差点を整備することを目的としており、五日市街道が国道16号へ合流する地点を2か所から1か所に集約したものである。

正和会
武藤 政義 議員



▲指定管理者による自主事業が行われている市営プール

新生児聴覚検査に係る取り組みについて

質問 新生児聴覚検査は、新生児の聴覚の課題を早期に発見、対処する上で大切なものであるが、検査の受診勧奨、適切な指導援助をどのように行っているか。また、検査費用の公費助成制度の創設について、所見を伺う。

市長 妊娠届け出や新生児訪問等の機会に受診勧奨を行っているほか、検査結果のフォローを確認し、早期

発見・早期対応につなげている。現在東京都において、新生児聴覚検査の推進に向けた検討会を開催し、公費負担する方向で準備を進めている。

子どもの視力検査の充実について

質問 視覚の課題も早期発見・早期対応が重要であるが、幼小児、児童生徒の視力検査の現状について伺う。また、視力検査の正確性、利便

性を高めるため、3歳児健診に診断機器のスポットビジョンスクリーナーを導入してはどうか。

市長 現在、視力検査は、3歳児健康診査時は絵視標により、また、小・中学生は国際標準準拠のランドルト環を用いた視力表により行っている。現時点ではスポットビジョンスクリーナーの導入は考えていないが、他自治体の動向を注視したい。

公明党
青木 健 議員



▲3歳児健診で使用されている視力検査用の絵視標

福生市におけるSDGsの推進について

質問 SDGs（持続可能な開発目標）は、貧困等を撲滅し、持続可能な世界を実現するために、国際社会全体の開発目標として2015年の国連サミットで採択されたものだが、本市においてSDGsの理念に沿った施策はあるか。

市長 本市は、持続可能なまちづくりを目指し、福生市男女共同参画行動計画や福生市環境基本計画など

に基づく施策のほか、世界平和都市宣言や平和記念事業として毎年開催する平和のつどいなど、人や平和を重んずるSDGsの理念と合致する数多くの施策に取り組んでいる。

教育現場における食品ロスの現状と削減推進について

質問 平成25年度の児童生徒1人当たりの学校給食の食品廃棄物は約17.2キログラム、残食率は約6.9%

であるが、本市の現状及び食品ロス削減の取り組みについて伺う。

教育長 本市の児童生徒1人当たりの年間の残食量は、推定で約20.3キログラム、残食率は献立により差があるが15.5%となっている。偏食なく食べる工夫や指導を行い、食品ロス削減に努めているほか、教育だより等に食育の重要性を掲載するなど、保護者への啓発等も行っている。

公明党
五十嵐 みさ 議員



▲給食の調理風景

幸せを感じることでできる妊娠・出産・子育てについて

質問 子育て世代包括支援センターができ、妊娠期から出産後までの適切な支援をさらに進めることができると考えるが、その取り組みと、特に支援が必要との判断やその対応について伺う。

市長 子育て世代包括支援センターでは、10代の妊娠、未入籍、経済難等、特に支援が必要と判断する妊婦について、必要に応じて個別支援

プランの作成を行っている。また、妊婦健康診査や妊産婦・新生児訪問の同行など、妊娠期から出産後についても見守り支援に取り組んでいる。

望まない妊娠について

質問 望まない妊娠は、虐待や貧困につながるケースも多く、支援は特に重要だと考える。市は妊娠届け出の際に面接を行い、妊娠の状況等

を確認しているが、このような妊婦への支援について伺う。

市長 妊娠届け出の際、不安や戸惑いを感じている方もいるため、窓口では、妊婦の気持ちを受け止め、周囲の協力を得ながら妊娠を前向きに捉えられるよう配慮した声かけをしている。また、妊娠中から母になることの自覚と自信を持てるよう、継続的な支援を心がけている。

生活者ネットワーク
三原 智子 議員



▲面接時に配付する個別支援プラン

幼保無償化について

市民派クラブ
田村 正秋 議員



▲くるみるふっさの「たっ☆クルポート」

質問 幼児教育・保育無償化について、政府は、消費税率が10%に引き上げられる2019年10月からの実施を目指すとしているが、本市の現時点での対応や今後の取り組み状況について伺う。

市長 国からは制度の概要が示されたが、具体的な内容などの詳細はまだまだ明らかにされていない。そのため、現在は、国の検討状況等を踏

まえながら、関係各課や近隣自治体と情報共有を図り、課題の集約を行っている状況である。

福生市サイクルシェアリング事業について

質問 サイクルシェアリングは、コストが安い、交通事情の影響を受けにくい、健康増進に寄与する等の利点があるが、本市の現状と今後の対策や課題について伺う。

市長 現在、本市では35台の電動アシスト自転車を市内5つのステーションに配備している。随時、バッテリーの交換やメンテナンスをしており、今年度は、磨耗、劣化等が進んでいるタイヤの交換を行っている。今後は、老朽化による入れかえや、他の自治体との広域連携を見据え、汎用性、拡張性、利便性のあるシステムの導入を検討する必要がある。

福生ふれあいフェスティバルの経緯について

正和会
串田 金八 議員



▲福生ふれあいフェスティバルの様子

質問 ふっさ健康まつり、産業祭、福生市民文化祭を同じ時期に開催している経緯を伺う。

市長 健康まつりは平成2年度に市制施行20周年記念事業として始まり、産業祭は平成3年度に商工会創立30周年記念事業として始まったが、この2つのイベントをより多くの方が楽しめるよう、平成3年度より、市民文化祭の日程に合わせて開催す

ることとした。この3つのイベントを総称して、福生ふれあいフェスティバルと呼んでいる。

福生ふれあいフェスティバルの内容について

質問 内容についても伺う。
市長 健康まつりは、ヘルスチェックや栄養相談のほか、脳トレや体力測定などを実施し、健康についての情報提供や健康づくりに関する普

及啓発を行っている。産業祭は、市内事業所の商品等の展示販売、溶接やものづくり体験、地場産野菜の直売などを行い、生産性の向上及び経済活動の振興を図っている。

教育長 市民文化祭は、文化活動の成果を発表する機会であり、新舞踊、民謡、日本舞踊、コーラス等の演示部門と、書道、絵画、華道、美術工芸等の展示部門がある。

教職員の長時間労働を生み出した根本原因は

日本共産党
池田 公三 議員



質問 現状の長時間労働の根本原因は、教員定数を増やすことなく、学校週5日制に移行したことによる教員の受け持ち授業時数の増加、多様な業務の増加、残業代ゼロによる長時間労働の助長等が考えられるが、所見を伺う。

教育長 国の中央教育審議会答申等を参考にした私見であるが、そのことに対して、市教育委員会として

答弁を申し上げる立場にはないと考える。公教育は国の法令や通知等に従って適正かつ公正に行うものである。学校と協働し、公教育の責任と使命を果たしていく。

学校給食法が食材費の自治体負担を禁止していないことについて

質問 市教育委員会は、学校給食費の無償化を行わない理由の一つとして学校給食法第11条を挙げている

が、これは負担割合を示したにすぎず、自治体が負担すること自体は禁止していないのではないかと。

教育長 同条第2項は、学校給食の食材費を保護者の負担と規定しているが、自治体が負担や補助を行うことを禁止する規定ではなく、自治体が政策として規定整備や予算計上を行い、議会の議決を得て実施できるものと解釈している。

学区について

正和会
佐藤 弘治 議員



▲福生市公共施設マネジメント庁内検討委員会実務担当部会の様子

質問 福生第二中学校区の小学校区について、近くの学校に安全に通学させたいと願う保護者から、学区の変更の相談や通学の苦労話を聞く機会があるが、この地域における学区の再編について伺う。

教育長 この学区の問題については、通学距離に関する相談や、子どもの登下校時の安全を心配する相談が多く寄せられるが、丁寧に説明し、

理解が得られるよう努めている。学区の再編については、多様な問題を整理し、諸計画の推進と並行して進めなければならない。

学校を核とした公共施設の複合化・集約化について

質問 福生市公共施設等総合管理計画では、地域会館や図書館、児童館、学童クラブと学校との複合化の検討に触れている。学校は、地域コ

ミュニティーの核として期待されるが、学校を核とした公共施設の複合化、集約化について伺う。

市長 市の中心拠点と各学区エリアそれぞれに求められる施設、機能について検討、各学校区の中の施設の配置の見直しを考えているほか、学校の改築の機会に、学校敷地内や隣接地に公共施設、機能の複合化、集約化を図ることも検討していく。

J R 八高線の教会踏切について

公明党
原田 剛 議員



▲第一中学校東側のJR八高線教会踏切

質問 福生第一中学校東側のJR八高線教会踏切は狭隘で、車両のすれ違いが困難なため、対向車の通過待ちの必要があるなどボトルネックとなっている。この状況について市の認識を伺う。

市長 教会踏切については、踏切の改善や道路拡幅等の交通安全対策が必要な箇所と認識している。踏切の東側については、土地所有者から

の用地買収の協力が得られ、踏切西側については、現在、用地交渉に取り組んでいる。

マイクロプラスチックとプラスチックごみについて

質問 海のごみの一つであるマイクロプラスチックと呼ばれる直径5ミリメートル以下の小さなプラスチックごみを、魚などが食べて生態系のバランスが崩れるとも言われてい

るが、プラスチックごみ減量に向けた市の所見を伺う。

市長 市では、不法投棄や不適切な排出につながらないよう、今後も継続してプラスチック等の適切な分別排出の指導及び適切な処理を行っていきたいと考えている。また、プラスチックごみの削減として、レジ袋の抑制となるマイバッグ活用推進を行っている。

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」について

日本共産党
奥富 喜一 議員



▲CV-22オスプレイのホイスト訓練の様子 (yokotajohoブログより)

質問 全国知事会は、平成30年7月に札幌市で開催した全国知事会議で「米軍基地負担に関する提言」を全会一致で採択した。全国知事会が初めて日米地位協定の改定を提言した画期的な動きだが、この提言に関する市長の見解を伺う。

市長 この提言については、米軍基地負担の現状や改善すべき課題について全国知事会が共通理解を深め、

決定したと承知している。私は、横田基地を抱える自治体の首長として、東京都や基地周辺5市1町で十分に連携しながら、今後も基地問題に全力で取り組んでいく。

横田基地のCV-22オスプレイについて

質問 防衛省は、オスプレイのホバリング等の訓練が行われている場所を認識しているのか。また、福生

市民でオスプレイのホバリング等の騒音に関する苦情を訴えた方はこれまでにあったか。あったとすれば、どのあたりにお住まいの方か。

企画財政部長 オスプレイの訓練場所について国に確認したが、訓練等の状況については米側から情報がなく、承知していないとのこと。苦情は、第2ゲート周辺地域にお住まいの市民の方から1件あった。

発達支援における教育と福祉の連携について

公明党
堀 雄一朗 議員



▲国道16号武蔵野橋北交差点

質問 障害者や支援の必要な人に対し、関係機関の横の連携と個別の指導計画にある縦の連携による支援はどのように行われているのか伺う。

市長 子育て世代包括支援センターが支援プランを作成。各分野で連携して支援し進行管理も行う。就学時期には教育相談室と、卒業時期には学校と障害者自立生活支援センターすてっぷと連携。今後も切れ目な

く支援を適切に提供すべく取り組む。

教育長 特別支援教育関係機関等連絡会で情報交換等を行い、特別支援教育推進体制整備委員会実務担当者部会で継続指導・支援を協議。保護者の参画を得て個別の教育支援計画や指導計画を作成し、関係機関が連携して一貫性のある支援を行う。

五日市街道の渋滞について

質問 国道16号武蔵野橋北交差点の交通形態が変更されて以来、五日市街道や国道16号が渋滞している。対策と解消の見通しを伺う。

市長 国土交通省相武国道事務所では、交差点信号サイクルの変更や路面表示の修正、補助看板設置につき警視庁や都、本市と調整を図ること。今後も同事務所と連携し、渋滞解消への取り組みに協力する。

可決された案件(要旨)

◎全員賛成 △賛成多数

◎福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

◎福生市福祉センター条例の一部を改正する条例

◎福生市福祉センター条例の一部を改正する条例

◎福生市福祉センターの指定管理者の指定について

◎福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

◎福生市福東会館条例の一部を改正する条例

◎福生市福祉センターの指定管理者の指定について

◎熊川地域体育館及び福生地域体育館の指定管理者の指定について

◎福生市の一般職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例

◎福生市市民会館の指定管理者の指定について

◎福生市長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の一部を改正する条例

◎福生市下水道事業の設置に関する条例

◎平成30年度福生市下水道事業会計補正予算(第2号)

◎市道路線の廃止について

◎平成30年度福生市一般会計補正予算(第4号)

◎福生市地域会館条例の一部を改正する条例

◎平成30年度福生市一般会計補正予算(第3号)

◎福生市一般職の任期付職員採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

◎人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について

◎福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について

◎福生市地域会館の使用料を改めるとともに、管理を指定管理者に行わせる場合の利用料金の規定

◎福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について

◎福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について

◎福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について

◎福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について

等、交付額の確定による減額。国庫負担金は、社会福祉費の増額。国庫補助金は、社会資本整備総合交付金の減額等。都府県負担金は、介護給付費負担金等の増額。都府県補助金は、緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業補助金の減額等。

歳入で、戸籍住民基本台帳費は、テレビ電話多言語通訳サービス委託料の追加等。社会福祉費は、高齢者住宅の見守りセンサー設置に係る委託料の追加等。児童福祉費は、保育所等ICT化推進事業補助金の増額。清掃費の減額は西多摩衛生組合の負担金の確定。商工費の減額は、消費者啓発事業委託料の減。都市計画費の減額は、特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化補助金等の減等。住宅費は空き家住宅除却助成金の増額。

平成31年度から下水道事業会計が公営企業会計に移行することに伴い、公営システムの改良に要する費用を計上するもの。

◎福生市福祉センターの指定管理者の指定について

◎福生市一般職の任期付職員採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

東京都の給与改定に準じ、特定任期付職員の期末手当の支給割合を改定するとともに、平成30年12月期の期末手当の支給割合の特例を定めるもの。

◎福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

市議会議員の期末手当の支給割合を改定するとともに平成30年12月期の支給割合の特例を定めるもの。

▽福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

市長等の期末手当の支給割合を改定するとともに平成30年12月期の支給割合の特例を定めるもの。

◎福生市の一般職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例

東京都の給与改定に準じ、一般職の職員の勤勉手当の支給割合を改定するとともに平成30年12月期の支給割合の特例を定めるもの。

▽平成30年度福生市一般会計補正予算(第4号)

前4議案の改正に伴い、議員人件費及び職員人件費の不足分を予備費から充当するもの。

◎人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について

島田しのぶ氏が任期満了となるが、引き続き人権擁護委員として、同氏を法務大臣に推薦することに異議ない旨を答申。意見書3件は1面に掲載

議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

市民派:市民派クラブ ネット:生活者ネットワーク

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	市民派	ネット	議決結果
市長提出議案							
議案第54号	福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第55号	福生市福東会館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第56号	福生市長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第57号	福生市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	可決
議案第58号	福生市地域会館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第59号	福生市プチギャラリー条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第60号	福生市福祉センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第61号	福生市宮駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第62号	福生市下水道事業の設置等に関する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第63号	平成30年度福生市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	可決
議案第64号	平成30年度福生市下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
議案第65号	福生市福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
議案第66号	福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
議案第67号	福生市宮福生駅西口駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
議案第68号	扶桑会館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
議案第69号	熊川地域体育館及び福生地域体育館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
議案第70号	福生市民会館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
議案第71号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	可決
議案第72号	福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第73号	福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	可決
議案第74号	福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	可決
議案第75号	福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第76号	平成30年度福生市一般会計補正予算(第4号)	○	○	×	○	○	可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について	○	○	○	○	○	異議ない旨を答申
委員会提出議案							
委員会提出議案第1号	臓器移植の環境整備を求める意見書	○	○	○	○	○	可決
委員会提出議案第2号	白タク行為への更なる対策強化に関する意見書	○	○	○	○	○	可決
委員会提出議案第3号	森林環境税の活用に関する意見書	○	○	○	○	○	可決

ご利用ください！インターネット議会中継



議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

◆**配信内容** 本会議のライブ映像と録画映像

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ (<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>) にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでは本会議の生中継を放映しています。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますのでぜひご覧ください。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジタイズ方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆採択

○臓器移植の環境整備を求める意見書の提出を求める陳情書(30-3号)

<p>●福生市手数料条例の一部を改正する条例</p> <p>■反対</p> <p>今回の値上げについては、市民生活の現状について検討もせず決めたこと、コスト理論、受益者負担理論にも矛盾する提案であること、財政状況から見ても市民に納得のいく理由が示されていないことから、この条例改正に反対である。</p>	<p>■賛成</p> <p>条例改正の目的である受益者負担の適正化は、歳入確保が主目的ではなく、市民間の公平性の確保と市民サービスの向上を目指し、行政のマネジメントを改善することを主目的として取り組むものであるため、この条例改正に賛成である。</p>	<p>●福生市手数料条例の一部を改正する条例</p> <p>●福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例</p> <p>●森林環境税に関する意見書</p>	<p>■賛成</p> <p>地方公会計制度の導入に伴い、減価償却費等を含むフルコストによる手数料等の算出根拠が明確化され、市民の受益者負担の公平性を考慮し見直したものであり、市の行財政改革を推進するものであるため、この条例改正に賛成である。</p>	<p>●福生市手数料条例の一部を改正する条例</p> <p>●福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例</p> <p>●福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例</p> <p>●森林環境税に関する意見書</p>	<p>そのほか次の議案に対しても討論がありました。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------

次回定例会のお知らせ

◎傍聴におでかけください。

平成31年第1回定例会 (予定)

- ◆本会議 午前10時開会 2月26日(火)～3月1日(金)及び26日(火)
- ◆予算審査特別委員会 午前10時開会 3月5日(火)～8日(金)
- ◆常任委員会 午前10時開会 3月12日(火)～14日(木)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送るヒアリンググループを導入しています。

行政視察報告

全国の市町村の特色ある施策を今後のまちづくりの参考にするため実施した、常任委員会の先遣地視察を報告します。

建設環境委員会

なお、視察報告書の本文を市議会ホームページに掲載しています。

視察先 ①富山県富山市
②石川県金沢市
視察日 平成30年10月16日(火)～17日(水)

①急激に進む人口減少により、全国的な問題として空き家対策が求められている。富山市においては先進的な事業を行っており、一定の成果をあげている。具体的な内容としては、空き家基礎調査を徹底的に実施し、パン



▲富山県富山市の空き家等対策計画及び空き家情報バンクを視察

フレット等を活用しながら相談体制を整備した上で、空き家の適正な維持管理を促進している。

②平成23年に金沢市まちなか自転車利用環境向上計画を策定し「はしる・とめる・つかう・まもる」の4つの基本方針に基づき、各種施策を実施している。平成27年度、計画期間の中間年を迎えるにあたり、現状や課題の整理、これまでの取り組みの検証、計画を時点修正し、中間見直しを実施した。公共レンタサイクルを整備し、自転車利用の推進を図りながら、自転車走行空間の整備や、正しい乗り方の啓発なども同時に行っている。

市民厚生委員会

視察目的 ①高齢者タクシー利用助成について
②発達支援システムについて

視察先 ①岐阜県瑞穂市
②滋賀県湖南市

視察日 平成30年10月3日(水)～4日(木)

①瑞穂市は、免許を所有しない世帯の75歳以上の高齢者で一定の条件に該当する方へ、タクシーチケットを発行して助成を開始している。高齢者の移動手段の確

保、外出支援の組み合わせとして、タクシー利用助成制度は、その一つの選択肢となりうる事が確認できた。

②湖南市は、乳幼児期から学齢期、就労期における、福祉・医療等関係機関の連携した個別指導計画と特別支援教育に関して、厚生労働省も参考とした事業を実施していた。

早期対応から学齢期、学齢期からそれ以降へのつなぎ、これらの連携と職員体制は参考となった。健康福祉部社会福祉課に発達支援室を設置し、その室長は市教委指導主事経験者ということが、教育と福祉の連携におけるポイントとなっている。



▲滋賀県湖南市の発達支援システムを視察

総務文教委員会

視察目的 ①かかみがはら寺子屋事業2・0について
②子ども司書について、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」について

視察先 ①岐阜県各務原市
②岐阜県岐阜市
視察日 平成30年10月25日(木)～26日(金)

①各務原市は濃尾平野の北部に位置し、近年は自衛隊岐阜基地などに関連する工業都市として発展を遂げた。目的に掲げた事業は平成28年度よりバージョンアップしており、参加者及び協力者の意見では、全ての事業において肯定的な内容となっており、効果は出てきていると思われる。

②岐阜市は岐阜県の中南部に位置する中核市で、同県の県庁所在地である。市立図書館で行っている「子ども司書養成事業」を調査した。中央図書館が設置されている「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の視察も行った。子どもたちが「本と人とを結ぶリーダー」になることを目的として始まり、図書館開館1年目から続いている。毎年20人の子どもたちを集め、夏休みの4日間集中講義を行い司書として養成している。



▲岐阜県岐阜市の「みんなの森 ぎふメディアコスモス」を視察

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

12月11日に委員会が開催され、8件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◆福生市福東会館条例の一部を改正する条例

問 料金体系を変更した理由と影響額は。

答 原価計算を行った結果、全体的に地域会館などの比較的小さい貸し部屋の基準使用料が現行の料金と比べて低い結果となったことから、影響額は年間約12万円の減。

◆福生市営駐車場条例の一部を改正する条例

問 何台の定期契約があり、閉鎖に伴う利用者の契約解除の状況は。

答 平成28年度は年間119台で、閉鎖の半年ほど前からお知らせし、代替の駐車場を探していたが、トラブル等はなかった。

◆福生市下水道事業の設置等に関する条例

問 1億5千万円以上の建設事業の議決が要らなくなるのとことだが、今後、どのように審議するのか。

答 1億5千万円以上の案件は、地方自治法の適用除外で、業務に関する



▲市道第269号線を現地視察

担金を市が全額負担する理由は。
答 下水道事業が企業会計を行うため、そのシステム改良の原因者が下水道事業者であることから、福生市が全額負担をする。

◆福生市自転車駐車場の指定管理者の指定について

問 深夜の苦情対応はどのように行われているか。

答 コールセンターでは24時間苦情を受け付けているが、深夜だとその場の対応は難しいので、翌日の対応になる。

◆福生市福生駅西口駐車場の指定管理者の指定について

問 駐車場には何台停められるのか。

答 23台で、そのうち軽自動車4台程度停められるように整備する。

◆市道路線の廃止について

問 どのような経緯で廃道に至ったのか。

答 道路としての機能を有していないことから、廃道の手続を進めた。

市民厚生委員会

12月12日に委員会が開催されました。3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◆福生市福祉センター条例の一部を改正する条例

問 プレゼンテーションの審査方法は。
答 書類審査と外部審査員の結果報告後、評価総



▲見守りシステムの端末機器

◆平成30年度福生市一般会計補正予算(第3号)
問 高齢者住宅事業の見守りシステムの概要は。
答 室内に設置された端末機器がインターネットでコールセンターと相互通信し、生活気配の有無や異常音、室内の温度レベルを常時見守る。異常検出時にコールセンターが状況確認し、必要に応じて生活協力員や在宅介護支援センターに通報する。また、入居者が相談ボタンを押すとコールセンターに接続され、看護師に24時間健康相談が可能。

◆福生市福祉センターの指定管理者の指定について
問 プレゼンテーションの審査方法は。
答 書類審査と外部審査員の結果報告後、評価総

合評点方式による評定を実施し、本団体を選定した。

臓器移植の環境整備を求める意見書の提出を求め、陳情書については、採択となりました。

総務文教委員会

12月13日に委員会が開催され、9件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◆福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例
問 今まで外国人を対象となる方はいたか、また今まで相談等があったか
答 対象者はいない。また、問合せについても現状はない。

◆福生市長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の一部を改正する条例
問 長期継続契約を行うことのメリットは。
答 各機器の賃貸借の契約で耐用年数が7年間あるものをリース契約した場合、経費の削減や事務の軽減が図られる。

◆福生市手数料条例の一部を改正する条例
問 手数料を改定した場合の影響額は。
答 約850万円の増額となる見込みである。

◆福生市地域会館条例の一部を改正する条例
問 50㎡未満を200円とすることによる影響額は。
答 各階への自動販売機の設置、インターネットを利用した講演会等ができるように社会的需要の高い通信環境(Wi-Fi)の整備など。

◆熊川地域体育館及び福生地域体育館の指定管理者の指定について
問 新たな提案等があったのか。
答 スポーツ教室としての新しい内容の提案等があり、トレーニング機器の一部リニューアル、更衣室のロッカーの更新など。



▲市民の美術作品等の発表の場として利用されている福生市アチギャラリー

◆平成30年度福生市一般会計補正予算(第3号)
問 市民会館管理運営事業の債務負担行為で、委託料の中の修繕費について。
答 指定管理委託料の中に含んでおり、上限額を現在の120万円から500万円に増額している。また、使用しなかった残額は、市に戻入する。

◆扶桑会館の指定管理者の指定について
問 福生市商工会から提案されている事業の内容について。
答 各階への自動販売機の設置、インターネットを利用した講演会等ができるように社会的需要の高い通信環境(Wi-Fi)の整備など。

◆福生市民会館の指定管理者の指定について
問 今回選定された団体の特徴的な点は。
答 友の会を設立して会員特典を新たに設け、他の自治体で運営している施設と連携を図り、相互に友の会会員が優待を受けられる施策を行うという点など。

◆定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め7回開催されました。



特別委員会活動から...

まちの魅力づくり 対策特別委員会

12月14日に委員会が開催され、9月議会で可決された「富士見通りについて」以外の提言について協議し、最終案を取りまとめました。主な内容は次のとおりです。

◆提言1(和の文化) 古民家(旧ヤマジウ田村家住宅)については、カフェや食堂などの休み処として、また、和の文化が体験できる場としての活用など、駅から酒蔵等をつなぐ回遊の拠点としての有効活用。

◆提言2(和の文化) 景観の観点から、市内二箇所にある酒蔵周辺の無電柱化。

◆提言3(洋の文化) 国道16号線沿い(ベースサイドストリート)店舗やアメリカンハウスなどを対象とした洋のエリアに特化した事業の積極的な展開。



▲洋の文化(ベースサイドストリート)

◆提言4(洋の文化)

国道16号線沿い店舗での英語によるコミュニケーションや米ドルでの買い物などの体験ができることを売りにした仕掛け。

◆提言5(多摩川流域沿い) 増加する多摩川沿いのサイクリスト等を対象としたカフェやサイクルステーションの設置による西多摩エリアの回遊の拠点化、目的地化。

◆提言6(熊川分水・片倉跡地) 土地所有者の東京都と一体になり熊川分水を活かしたサイクルステーションや公園等を併設した道の駅など、平成36年以降の片倉跡地の活用についての検討。

◆提言7(市内体験型観光資源の情報発信) 現在の個々の情報発信を、統一した分かりやすい情報発信に改善。

◆提言8(Wi-Fiによる観光資源の情報発信) 平成30年9月に市と多摩ケーブルネットワーク(株)が締結した「地域広帯域移動無線アクセスシステム」の整備及び公共サービスに関する協定による福生駅周辺をはじめとする無料Wi-Fiスポットの整備を活用し、本来の目的である災害時の避難所における通信手段の確保等と併せ、観光資源の情報発信の推進。

横田基地対策 特別委員会

12月14日に委員会が開催され、1件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

1 横田基地に関する情報等について
①9月25日に市長が横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会の副会長として、防衛大臣及び防衛省北関東防衛局長と面会し、横田基地へのCV-22オスプレイの正式配備について、迅速かつ正確な情報提供等の要請を行った。

②10月1日にCV-22オスプレイ5機が横田基地に正式配備された。
③10月14日にMV-22オスプレイ2機が横田基地に飛来した。
④10月29日から11月2日にかけて横田基地において演習(サムライ即応監査)が実施されたが、航空機の運用はなかった。

⑤10月29日から11月8日にかけて自衛隊及び米軍基地等を使用した日米共同統合演習が実施された。航空機騒音についての苦情が2件あった。
⑥11月29日に編隊飛行訓練(サムライ・サージ)が実施されたが、航空機騒音の苦情はなかった。

⑦11月30日に横田基地及び北関東防衛局に対して、横田基地における正月三日の飛行停止の要請を行った。
⑧12月7日及び10日にMV-22オスプレイ1機が横田基地に飛来した。
⑨人員降下訓練が10月と11月に実施されたが、航空機騒音についての苦情はなかった。
⑩11月に行われた秋の花いっぱい運動への参加など、横田基地有志によるボランティア活動の報告があった。
⑪12月18日及び19日に市長が都と5市1町協議会の副会長として、横田基地対策に関する総合要請を関係省庁及び横田基地に対して実施予定との説明があった。



▲横田基地有志によるボランティアの様子

編集後記

公益財団法人日本漢字能力検定協会が平成30年の世相を表す漢字一字としたのは「災」でした。北海道や大阪などで発生した大きな地震や、西日本豪雨。大型台風の襲来や記録的な猛暑など大規模な災害が日本各地を襲いました。福生市でも台風24号が通過した際には、多くの倒木や飛散物などの被害がありました。幸い人的な被害はありませんでした。今後の首都直下地震の発生確率などから常に油断することなく備えること。また「自助」「共助」が「防災」「減災」には重要なことだと再認識させられました。

第4回定例会では、市民会館や地域体育館など、来年度からの指定管理者の指定が可決されました。指定管理は民間が持つノウハウを活かしていただき、施設の運営などサービス向上によって利用される皆様の利便性の向上を目指したものです。市民会館では様々な個人・団体の方々利用されていますが、新たな提案もされています。期待していただければと思います。

平成最後の年明けとなりましたが、変わることなく皆様のために頑張っています。